

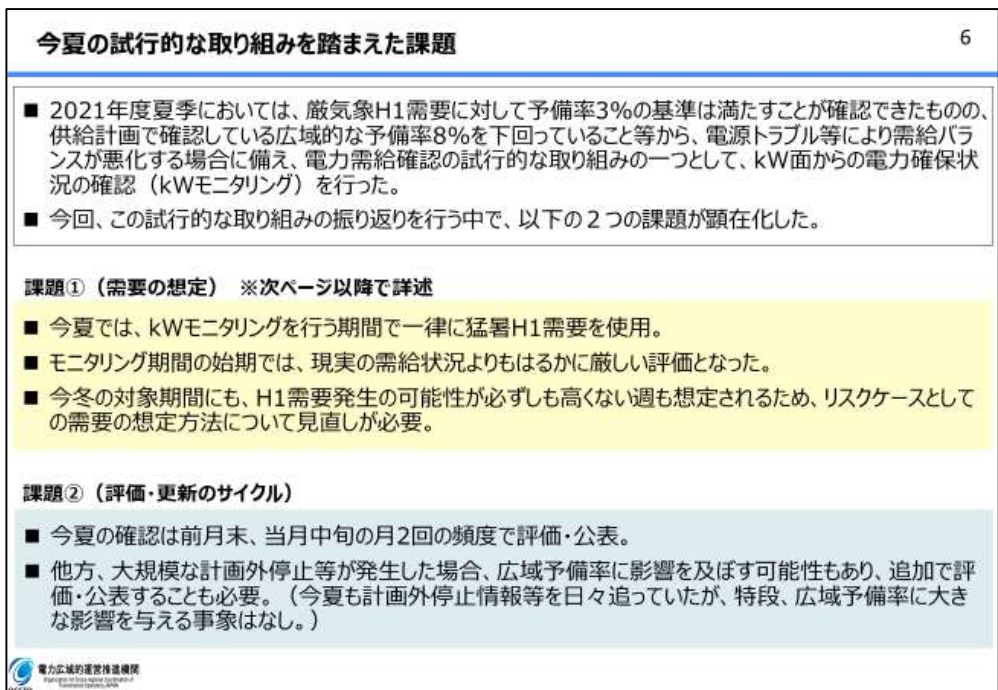
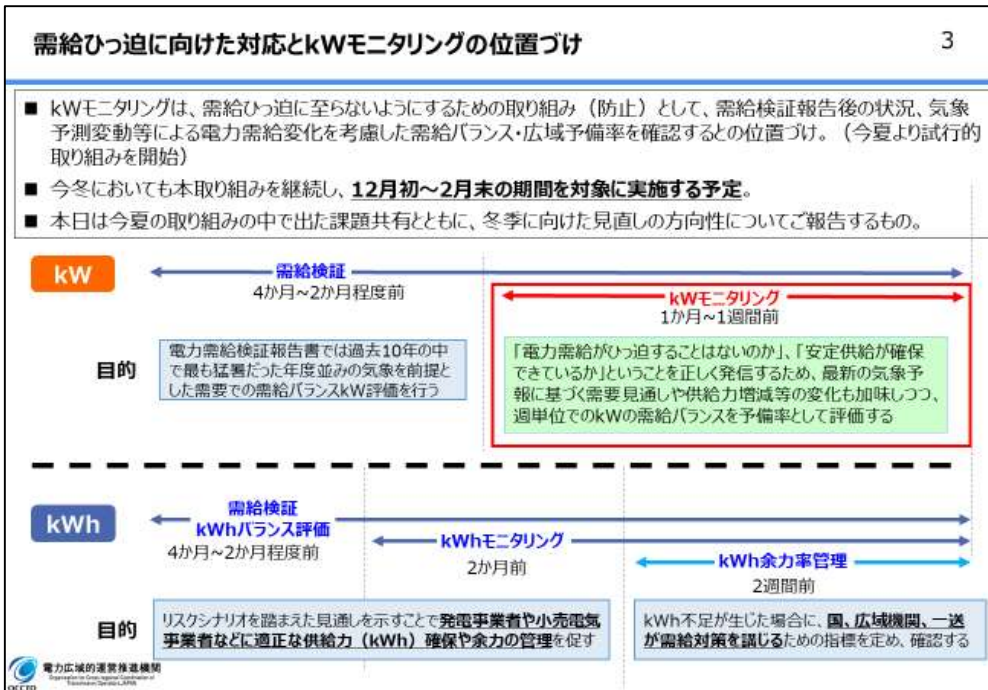
2021年度冬季需給バランスのkWモニタリングについて (報告)

2021年 10月14日

調整力及び需給バランス評価等に関する委員会 事務局

1. 冬季需給バランスのkWモニタリングについて

- 第65回委員会（2021.9.22）にて報告のとおり、本機関は今冬においても、需給検証報告後の状況後の変化を考慮し、kWモニタリング（1ヶ月程度先までの週別バランス評価）を実施予定。
- モニタリング期間は12月初～2月末を予定。（初回公表は11月末を予定）
- 今夏の試行的取り組みの中で挙げた以下2点の課題について、需要の想定方法を中心にその対応方針をご報告するもの。
 - 課題①：需要の想定（リスクケースとしての需要想定方法）
 - 課題②：評価・更新のサイクル（公表後に大規模な供給力変更があった際の追加評価・公表有無）



2-1. 課題①（需要の想定）への対応方針

<課題>

- 今夏モニタリングでは、需要を常に猛暑H1需要に設定した需給バランスにて評価し、公表。
- 他方、低需要期が想定される週では予め発電設備等の停止作業が入るなど供給力を減らす運用がなされ、当該週にH1需要想定を使うと現実の需給状況よりもはるかに厳しい評価となり、誤ったメッセージとなる懸念がある。
- 加えて、リスクケースが実需要想定等と比較しどのような水準であるか把握できるよう、複数視点からの提示も必要。

<対応方針>

- リスクケース需要の見直し
 - リスクケース需要はH1需要適用を基本とするが、過去の最大需要実績から**当該週の最大需要が各月の最大需要に対し大きな開き（>10%）がある週については、H1需要に代わりH3需要を適用**する。
（参考：過去5年の実績で評価した場合、該当は12月第1週、1月第1週及び2月第5週となる。）
- 3段階評価への見直し
 - 需要想定を1点だけ（猛暑H1需要）に限定した評価を見直し、需給状況の緩厳がわかりやすいように、**複数ケース（①月間需給予想、②過去の最大需要、③リスクケース需要）の評価**とする。

過去5年の最大需要実績とH1需要、H3需要との比較

	9エリア過去最大実績（過去5年間）※					H1需要 （需給検証）	H3需要 （供給計画）	備考
	1週	2週	3週	4週	5週			
12月	12,957	13,674	14,402	14,132	13,865	15,022	13,989	12月第1週はH3需要適用
1月	13,222	15,499	15,409	15,650	14,914	16,027	14,754	1月第1週はH3需要適用
2月	15,015	15,047	14,592	14,050	13,114	16,025	14,735	2月第5週はH3需要適用

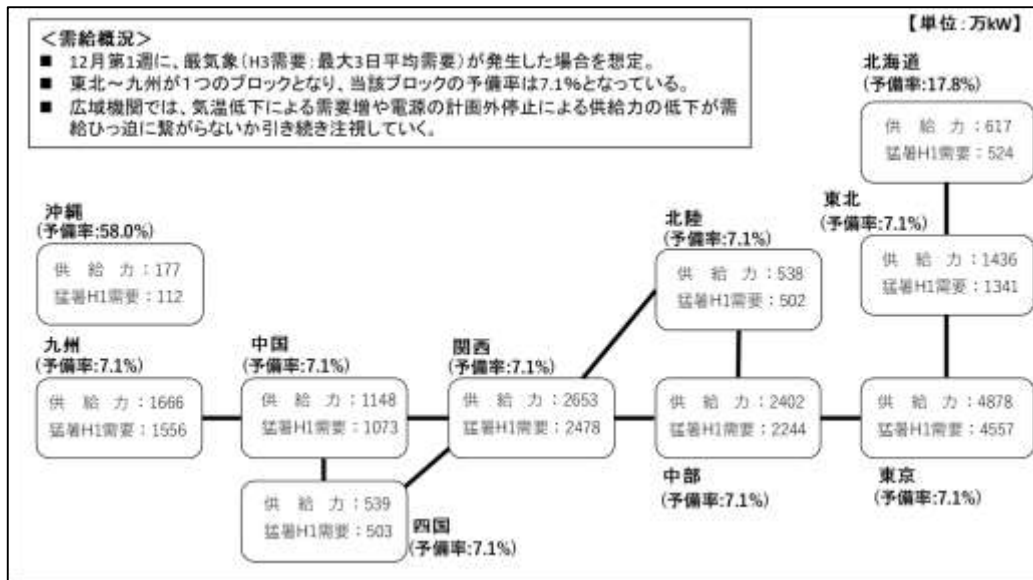
※ リスクケースとしてH1需要又はH3需要のどちらを適用するかは、9エリア合計の合計需要値で評価している。

(参考) 公表イメージ

- 公表は以下の二つの表をもって行う予定（※詳細は運用状況を踏まえて適宜見直し）
 - リスクケースを適用した場合の広域的評価（広域ブロック予備率）
 - リスクケースに加え、前述した各段階の「月間需給予想」及び「過去の最大需要」の評価結果も公表
- なお、リスクケースとしてH1需要に代わりH3需要を適用する週については、その旨を注記等にて明記する。

【公表イメージ（12月第1週）】

＜リスクケースを適用した場合の広域的評価＞



＜各評価結果＞

リスクケース（H3需要を適用）

	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄
供給力	617									177
需要	524									112
予備力	93									65
予備率	17.8%									58.0%

過去の最大需要

	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄
供給力	573	1,386	4,784	2,400	542	2,652	1,023	528	1,615	177
需要	469	1,243	4,257	2,034	451	2,090	892	399	1,260	93
予備力	104	143	527	366	91	562	131	129	355	84
予備率	22.2%	11.5%	12.4%	18.0%	20.2%	26.9%	14.7%	32.3%	28.2%	90.3%

月間需給予想

	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄
供給力	573	1,386	4,784	2,400	542	2,652	1,023	528	1,615	177
需要	490	1,220	4,312	2,019	433	2,070	900	443	1,340	97
予備力	83	166	472	381	109	582	123	85	275	80
予備率	16.9%	13.6%	10.9%	18.9%	25.2%	28.1%	13.7%	19.2%	20.5%	82.5%

2-2. 課題②（評価・更新のサイクル）への対応方針

<課題>

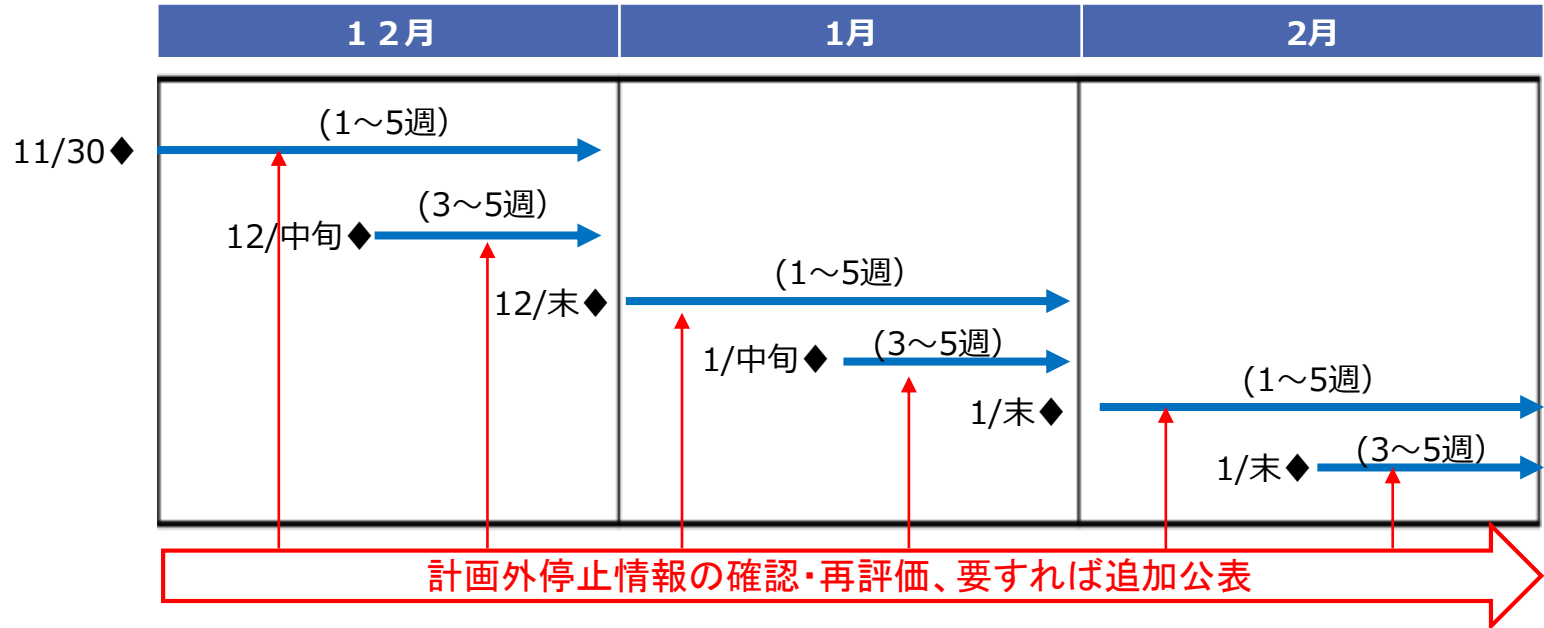
- 今夏の確認は前月末、当月中旬の月2回の頻度で評価・公表していたが、公表後に大規模な計画外停止等が発生した場合、広域予備率に影響を及ぼす可能性も否定できない。
- 今夏も停止情報等を日々収集し、広域予備率に大きな影響を与える事象ではないことを確認していたが、万が一影響が出た場合に備え、追加評価・公表する基準を予め定めた方が運用上適切と思料。

<対応方針>

- 公表後に新たな計画外停止が発生した場合には、これまで通り供給力を都度再評価する。
- 再評価の結果、予め設定した広域予備率（8.0%※）を下回るエリアが確認できる場合には、確認できたタイミングにて速やかに追加評価結果として公表する。

（※数字は現時点の仮置きのものであり、モニタリング開始時点の需給状況を踏まえ設定する。）

【公表イメージ】



- 広域機関では、本機関Webサイトの「系統情報サービス」にて、これまでも通年で需給関連情報等を公開。
- 需給関連情報として、月間・週間等の電力需給予想・ピーク時供給力を提供している。(この電力需給予想については、至近の需要実績、気象情報等から想定したもの。)

【当機関Webサイトで公開する系統情報サービス】

広域機関システム

公表

- 地域関連系統情報
- 地域内送電線関連情報
- 需給関連情報**
- 作業停止計画関連情報
- 再生可能エネルギー関連情報
- その他情報
- ダウンロード情報

- 電力使用状況(てんき予報)参照
- 電力需要予想・ピーク時供給力参照**
- 広域ブロック情報参照
- 需要実績参照
- 供給区域別の需要実績
- 供給区域別の供給実績

- 電力使用状況(てんき予報)参照
- 電力使用状況(てんき予報)
- 電力需要予想・ピーク時供給力参照
- 電力需要予想・ピーク時供給力**
- 広域ブロック情報参照
- 広域ブロック情報
- 需要実績参照
- 需要実績
- 供給区域別の需要実績
- 北海道エリア
- 東北エリア
- 東京エリア
- 中部エリア
- 北陸エリア
- 関西エリア

「需給関連情報」

→ 「電力需要予想・ピーク時供給力参照」

→ 「電力需要予想・ピーク時供給力」

参考：東京エリアの月間・電力需給予想 (対象：2021年11月)
※9月末公表

出所) 広域機関Webサイト 系統情報サービスより
https://occtonet3.occto.or.jp/public/dfw/RP11/OCCTO/SD/LOGIN_login#

電力需要予想・ピーク時供給力(月間)

2021年10月13日地域内送電線運用日割が更新されました。

検索

年次 月間 週間 毎日・毎時

2021年 11月

エリア	平日/休日	季節	月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東京	平日	最大需要予想 (MW)		40,420	40,420	40,420	40,420	40,420	40,420
		最大供給力予想 (MW)		43,852	43,816	43,132	43,132	43,132	43,132
		予備率 (%)		8.4	8.4	6.7	6.7	6.7	6.7
東京	休日	最大需要予想 (MW)		35,080	35,080	35,080	35,080	35,080	35,080
		最大供給力予想 (MW)		41,963	41,000	42,173	41,283	41,283	41,283
		予備率 (%)		19.0	18.8	20.2	17.8	17.6	17.6